

Concept Book

ミラテック社員コンセプトブック

目次

経営理念	4
より良き未来が来ますように	6
ミラテックで働くという事	7
3つの品質	7
全ての判断基準は「人間として正しいかどうか」	8
「未必の故意」 感謝の心で人生の王道を歩む	9
なぜ社長の指示、ルールを遵守しなければならないのか	12
お客様とはどういう存在なのか	
「お前、若いのに真面目だな。ビルを建てさせてやるぞ。」	14

仕入れ先、協力工場とはどういう存在なのか	
「お客様には100%、仕入れ先、協力工場には120%頭を下げる」	16
自社の繁栄と利益無くして社会貢献活動をする資格はない	18
5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）	20
他力と繁栄、傲慢を慎み、互いに協力し合うことの大切さ	22
魂を磨く、徳性を高めるためには人との関わりが全ての前提	23
何故企業は永続すべきなのか	27
幸田露伴「努力論」より	28
クレーム発生！	30
ミラテック受注並びにお取引ポリシー	31

経営理念

宇宙の意志との調和（人間として正しい心と行動）
を基礎に成長発展し
地球社会に貢献する

(解説)

一握りの超高温、超高压の素粒子の大爆発（ビッグバン）により宇宙は誕生しました。そして今も膨張を続けるこの宇宙における物質の生成、生命の誕生、その進化の過程は偶然の産物ではなく必然性（法則）があります。宇宙には、一瞬たりとも停滞することなく全てのものを進化発展する方向へ進めていこうとする流れがあり、その流れは「宇宙の意志」であるといえます。宇宙は愛（慈悲・慈愛）と誠と調和、そして利他の心に満ちており、我々の意志、思考、行動は「宇宙の意志」（法則）と調和し、利他の心で満たされた無限のエネルギーそのものであるべきであり、それによつて我々ミラテックは進化発展し、広く地球社会に貢献していく。これがミラテック全社員の使命なのです。

より良き未来が来ますように

「運命は変えることのできない宿命ではない、生き方次第で運命は如何様にも変えることができる、それを立命という」これは立命の書「陰騭録」に出ている誰にとっても大切な言葉です。こと仕事においては何事も努力すれば大概のことは成し遂げられます。社内が乱れていて恥ずかしいと思えばまずは掃除、整理整頓すればともきれいになり、他社と比べて品質が劣っていればその品質を上げるよう努力すれば高品質の商品・サービスを提供することができるようになります。自分の能力を未来進行形でとらえ、日夜一生懸命学び、現場で実践を繰り返し返せば、できないことなど何もないことに気が付きます。全ての人に平等に与えられている人生の「時間」をみなさんはどう使いますか。私は高い志を持って学び実践し、広く社会に貢献できる会社を作り上げたいと思っています。そしてそれを通じて全社員の人生がとても有意義で幸せなものになることを心から望んでいます。

ミラテックで働くという事

ミラテックで働くとはこの5つを実践することです。

- ・魂の徳性を高める
- ・技能・知識・経験を身につける
- ・幅広く人様のお役に立つ
- ・人を幸せにする
- ・自分も幸せに生きる

3つの品質

- ・仕事・商品・サービスの品質
- ・思考と行動の品質
- ・お客様に愛されるコミュニケーションの品質

全ての判断基準は「人間として正しいかどうか」

ミラテックでは全てに於いて

「人間として正しいかどうか」

が判断基準となります。この大切な判断基準にはその場限りの損得や自社の都合、取引上の優越性、個人的な感情や世間の常識は一切関与しません。私たちは常に「それは人間として正しいかどうか」で物事を判断します。また、この判断基準を貫くためには平素から高潔で勤勉な姿勢と、常に創意工夫をし、経営システムの改善改良を重ね、精密且つ緻密で高収益な仕事ができるよう会社全体の品質を高め続けることが大切です。そして何より人を思いやる心が大前提となります。

「未必の故意」 感謝の心で人生の王道を歩む

未必の故意、「赤ちゃんが生まれた。ミルクを与えると赤ちゃんはすくすくと元気に育つ。もし赤ちゃんにミルクを与えなければ赤ちゃんは衰弱して死んでしまう。そのとき親が『私たちは何も悪いことはしていません』と言っても通用しない。ミルクを与えなければ赤ちゃんは死んでしまうことを当然わかっていたはずだから、ミルクを与えなかった、すなわち『わかっていて何もしなかった』ことが罪になるのだ。」

もしあなたが「いったい自分は何のために仕事をしているのだ。何のために生きているのだ。」と自分の人生に希望を失い、迷った時、「こんな自分に親は何のためにミルクを与え、生かしたのだ。」と考えてみて下さい。ミルクを与えなければ私はとうに死んでいた。両親が私にミルクを与えてくれたから私はこれまで生きながらえた。両親は私に何を望んでいたのだろうか。高野山に行くとあちこちのお店で「地獄と極楽」という絵本漫画

が売っています。私も幼いころ何度も読んだ、地獄の責め苦を描いたもので、子供たちに悪いことをしてはいけないことを教えるものです。これを読むと子供は悪いことをして地獄に落ちるのが怖くなり、少しは親の言う事に対して素直になれるのです。絵本の最後に笑顔のお父さんとお母さんが、恐らく小学校にあがるかという幼い少年に「立派な大人になるのですよ」と話しかけているシーンがありました。私たちの両親は決して私たちが悪事をはたらいたり、贅沢をして享樂的な人生を過ごす為に、あるいは希望を失い、世を拗ねた人生を送るためにミルクを与えたのではないのです。やはり「立派な大人になるのですよ」という思いと共に、人様のお役に立ち、意義ある人生を歩むことを願っていたのだと思います。「世のため人のために役立ち、広く社会に貢献する人生を送る」そう心が定まっていれば余計な事は一切考えなくていいはずです。「私の命は世のため人のためにある、全ての経験は私の魂を磨き高めるためであったのだ。これからの私は、ただひたすら、世のため人のために生き、全てに於いて最善を

尽くせばいいのだ。」心の決着がつく感覚はとても清々しいものです。感謝の気持ちを忘れず純粹な心で物事に取り組めば、決して過ちを犯すことはありません。ミラテックのみなさんは美しく立派な心構えで人生の王道を歩み、今生を堂々と生きて下さい。

なぜ社長の指示、ルールを遵守しなければならぬのか

社長の指示、そして定められたルールをよく理解し、「遵守」するということがミラテックで働く上では絶対条件となります。何故そうしなくてはならないのでしょうか。それは社長の決裁を受けるということ、社長の指示に従うということ、そしてルールに従うということは「社長が全ての責任を取る」ということに他なりません。社長は常日頃から経営に関するあらゆることを懸命に学び続けていますが、社会の情勢は刻一刻と変化し、常識は常に陳腐化します。社長の学びも会社のルールも日々古いものとなり、それは常に不完全なものだと言えます。しかし、いつの時代も変わらないことは、社長の指示や会社のルールは全て「社員を守るためにある」ということです。社員を、ミスやトラブル、そして犯罪から守るためにルールは存在します。そして社長からの細かな指導は、より速く成長して

個々の業績を伸ばすためであり、それは「社員の収入を守り、物心両面の幸福を目指している」からなのです。業績やスキルが向上せず成長しなければ、或いはミスやトラブルを起こして損害を発生させるようなことがあれば収入を失い、全社員、そしてその家族にも幸せではない結果となってしまいます。また、お客様や職場を共にする仲間にも迷惑をかけることになってしまいますのです。

一人一人が信用されて今この職場を共にしていることを忘れず、自己中心的な考えを慎み、自分自身もまた会社を信用し、心一つにして社業に精進して下さい。

お客様とはどういう存在なのか

「お前、若いのに真面目だな。ビルを建てさせてやるぞ。」

「お客様」それは私たちが存在する価値を認めて下さる方々であり、私たちに生活の糧を与えて下さる有り難い存在です。同時に我々にはお客様の繁栄と幸せに貢献する義務があり、それを果たせなければ大切なご縁を失ってしまうとても厳しい存在でもあります。私たちは常にお客様にご満足いただけるために学び、努力し、創意工夫と改善改良を続け、成長し、より大きく貢献させて頂けるよう進化発展する義務を負います。サービスについてはお客様の期待通りでは足りません。期待をはるかに超えるサービスを提供することが不可欠です。お取引によるお客様の感動はそこにあります。私たちはお客様のお引き立てに報い、自社が成長発展をし続け、お取引に誇りを持っていただけるような存在として成長しなくてはなりません。

せん。机上のガリ版しかなかった創業当時、今日一膳の食もなく、一つのうどん玉を滝野淑子会長と半分ずつ食べるのがやっとの日々の中で、まだ若かった創業者 滝野喜平次はあるお客様にこう言われました。

「お前、若いのに真面目だな。ビルを建てさせてやるぞ。」

私たちは今、お客様が建てさせて下さったビルでお仕事をさせて頂いております。私たちはこれからも精進し、より大きく成長することで、お客様への報恩感謝の心を表しましょう。

仕入れ先、協力工場とはどういう存在なのか
「お客様には100%、仕入れ先、協力工場に
は120%頭を下げる」

私たちは全ての工程における仕事の原料となる資材を仕入れ、社内で仕事をこなします。また、自社でできないことは他社の設備、教育された人材、経営努力、そしてミラテックを優先して頂くといいお引き立てによりお仕事をたすけて頂きます。価格面に於いては常に無理を言い、それを受け入れて頂くことで価格競争に勝たせて頂き、お仕事の受注成功の立役者になって頂きます。他社よりもミラテックを優先して頂けなければ価格競争に勝つことができず、今の売上、利益、そしてみなさんの収入を維持していくことができなくなります。ビジネスの世界においては「お金を支払うか、頂くか」これが力関係となり、お金を支払う相手には誰もが「傲慢」に陥ります。また競争の激しさ、交渉の厳しさから時には酷いことを言い、

仕入れ先、協力工場の人々を傷つけてしまうこともあるでしょう。しかし、お互いの信頼関係とお引き立てが無ければ取引は成立せず、やがて衰退に向かうことは歴史が証明する事実でもあります。心の中にはいつも

**「お客様には100%、仕入れ先、協力工場には120%
%頭を下げる」**

謙虚な姿勢をミラテック全社員には忘れないでいただきたいと願っています。

自社の繁栄と利益無くして社会貢献活動をする 資格はない

社会貢献活動について私たちはミラテック社員はより厳しく考えなくてはならないと思っております。零細企業のあいだは会社周辺の清掃活動くらいしかできないでしょう。本来に社会のお役に立つにはそれなりの規模と社会に還元していける潤沢な利益と内部留保が無ければ社会貢献は単なる絵空事に終わってしまいます。私たちにできる社会貢献とは、代金を頂いてお仕事をさせて下さるお客様にまずは誠実で確かな、実りあるお仕事を精いっぱい努力で提供させて頂くこと、私たちが自身が努力して繁栄し、より多くの売上と利益、内部留保を確保することがスタートです。また、木材を原料とする「紙」を有効活用し、その制作物でお客様の繁栄に貢献する良い仕事をするのが、真の環境への配慮であると言えます。販促効果に乏しいお仕事、価値を生み出せないお仕事をすれば印刷物の山は「ゴ

「ミの山」と化します。ミスをしてやり直しが発生すれば命ある木材が有効に使われることもなくゴミとして捨てられていきます。これらはすべて私たちの仕業です。プロとしての仕事に徹し、良く学び、努力することでお客様に貢献することができます。繁栄により得られた利益の大きさに合わせてより大きく幅広い社会貢献が可能になることを忘れないで下さい。

5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）

会社と自分自身を磨き上げ、広く社会に尊敬され、経営品質を感動して頂けるレベルにまで高める。

人間社会にはあるべき姿という基準があります。

- ① きれいに整えられている
- ② 無駄がなく、必要なものだけに囲まれている
- ③ 効率が良く機能的に仕事ができる
- ④ 規則正しくルーティンをこなせる
- ⑤ 美しい外観である
- ⑥ お客様の好感と信用、尊敬を得られる
- ⑦ 働く人にとって心地よい空間である

例えばこの7つの基準を「繁栄する職場の基礎的条件」と考えた場合、この真逆であればみなさんの会社の行く先はどうなると思いますか。このことに関して社内で意見が分かれるようでは事業の発展は到底見込めないでしょう。「5Sが行き届かず乱れた会社は必ず倒産する」このことは現代においては誰でも知っている事です。仕事が溢れている時代ではなく、競争が激しい経済環境においてはどのような業界でも意識レベルが低い会社が淘汰されるのですから、最低限の条件をそろえる努力を怠る経営ではお客様の引き立てを頂くことなどできません。商取引に当たっては決して自己中心的になることなく、「自分ならどのような会社を選ぶのか」を思えば、自社が選ばれるかどうかは容易に理解ができるはずです。現代はお客様が感動し、尊敬されるような経営品質を求められるのが当たり前前の時代です。際限なく会社を磨いていかなければ生き残り、繁栄し続けることなどできないでしょう。より美しく機能的な会社を何度も頭に描きなおし、時代と共に変化し、発展し続けることが大切です。

他力と繁栄、傲慢を慎み、互いに協力し合う ことの大切さ

人はみな一人では生きていきません。当然ですが会社も仕事も一人では成り立ちません。職場を共にする社員がいてそれぞれが互いに協力して仕事が出来ています。顔や姿かたちがみな異なるように、能力もまた様々です。能力に差があっても不必要な人などいないのです。たとえ自分がどれだけの能力や経験、知識、技術が優れていてもひとりでは何もできないことを理解できなければ、能力ある人が会社を窮地に追い込みます。自分だけが有能でもそれは意味がないのです。自分の能力はいつも他の人が活かしてくれ、光り輝かせてくれます。「人生最大の病は傲慢なり」そのことを忘れず、仲間に感謝し謙虚にして驕らず、更に努力を積み重ねましょう。

魂を磨く、徳性を高めるためには人との関わりが全ての前提

思念を言語に置き換える、すなわち人に思いを伝えることは難しい。私たちの仕事で言えばドキュメント、情報の伝達ということになります。

シルバーバーチ（モーリス・バーバネルが霊媒となり、そのメッセージを伝えたとされる霊の名。）の霊訓に次のようなお話がありました。「人はまず、最初に頭の中に思念を抱きます。その思念を自分自身は理解していません。つまり誰でも自分が何を考えているかは分かっているわけです。ところが、誰かに伝えようとすると、何らかの表現形式、それも、相手に理解できるものに置き換ええないといけません。それを私たちは「言語」と呼んでいます。使用する言葉は、誰かが頭に抱いた思念を伝える相手に理解してもらえない形式で表現しようとする試みの表れなのです。

そうになると、頭に描いた思念が相手にうまく伝わるか否かは、その人の

表現能力にかかってくることになりましたが、たとえシェイクスピアほどの才能があっても、思念は非物質的なものであり、それを物質的な言語に置き換えるのですから、そのすべてを表現できるはずがありません。しかも、それを聞く側は聞く側で、その内容を理解するためには、その言葉を通して元の思念を想像しなければなりません。

このように、会話や文書による伝達においては人間どうしでも、とても厄介な操作が長々と行われているのです。それに加えて、言葉にならない思念でも何とか言葉に置き換ええないといけませんから、そこに無理が生じ、誤解が生じます。言葉は必ずしも思っている通りのことを伝えてはいないのです。ですから、もしも言葉の中継なしに思うことを伝え合うことができれば、地上世界を悩ませている問題の全てとまではいかなくても、その多くが解消されるはずで、言葉による誤解や思い違いといったものが生じないからです。伝えたいことがそのまま伝わり、外交辞令とか、言葉をごすとといった余計なことをしなくなるはずで、わたしの世界（霊的な

世界)の言語は思念の言語です。つまり、心と心との直接の交信によって通じ合い、地上(現世)時代の習慣から脱け切ると、言葉は使用しなくなります。したがって言語の違いによる混乱が生じないわけです。地上でフランス人だった人がスウェーデン人と、エスキモーだった人がイタリア人と、気楽に通じ合います。地上のように、思ったことをいったん言葉というシンボルに置き換えることなく、そのままで通じ合えるのです。」

現世の人間社会において人と人とのコミュニケーションで難しいのは、自分の気持ち、思いを伝えること、情報を的確に、そして正確に伝えることです。私はいつも「なぜ自分の気持ちや伝わらないのか」「なぜ理解してくれないのか」「なぜ純粋な思いが相手に届かないのか」と苦しむことが多いのですが、思えば思念を言語に完璧に置き換えることなどできるはずがなく、言語はとても素朴で稚拙な伝達の道具にしか過ぎないのです。

ネットに溢れている情報の大半が信憑性疑わしい今日、思念を最大限的確に言語として置き換える努力はとても重要な事になっていくような気が

致します。このような事をお話していて思いますのは、よく「コミュニケーションが苦手だ」「人と話すことが苦手だ」という人がいますが、人間である以上、そして今生に生まれ、人間は一人では生きていけず、必ず人とのコミュニケーションを土台に生かされることを思えば、思念を言語化して人に伝える、すなわち「人との対話」、これは人間として生きていく間にだけできる、意義深く、とても楽しく、そして魂を磨き上げ、徳性を高めるために欠かすことができない大切な修行であり、今生のカリキュラムの一つなのではないかと思えます。思えば確かに魂を磨く、徳性を高めるためには人との関わりが前提となっているはずです。

物怖じせずたくさん会話をすること、間違った言語を放って恥をかいいたり、お叱りを受けたり、そして喜んで頂くこと、感動して頂くこと、これ全て大切な魂の修行なのでしょう。人生とは楽しくも意義深く、有り難いものだと思えます。

何故企業は永続すべきなのか

会計のセミナーで減価償却のことについて学ぶ機会がありました。「例えば機械設備の減価償却が10年だとします。その決まりは『あなたの会社は来年も、再来年も、10年後も続けますよね』と社長さんに問うているのですよ。」この当たり前の説明が大変印象に残りました。会計は経営の実態を全て数字で表すと同時に国家社会の繁栄のために望まれていることがルールとして形成されているのです。毎年多くの会社が生まれ、同時に多くの会社が消滅していきます。減価償却は単に耐用年数から経費を落とす年数を割り出しているのではなく、末永く繁栄し、国民の生活の糧を担う存在として国家社会のために貢献してほしいと期待されているのです。地球社会は衰退せず常に変化し続ける、その変化に対応し、事業の継続で国家社会に貢献する使命感を持って努力を積み重ねて頂きたいと思えます。

幸田露伴「努力論」より

● 幸運を引き出した綱を握っている手のひらには血が滴っており、悪運を引き寄せた綱は手のひらにやさしい柔らかく滑らかなものであることに気が付くだろう。

● 天才の仮面の下はいつだって努力の匂いがする。

● 努力よりほかに我々の未来を良くするものではなく、また努力よりほかに我々の過去を美しくするものはない。

● 「百を目指してやっと十、十を目指しては五も得られない」英傑は別として我々凡人は百を目指してようやく十を得、十を目指して半分も得られないのが現実である。だからこそ、志は性格に応じて可能なかぎり高くもつことが大事だ。

● 小さなことを軽く見てはならない。小さなことだと思つて軽んじるのは、自分の心を尊ばないということと同じだ。

● 張る気をもつて事に当たれば、その人の最高能力を出し尽くすことができる。ことや三味線は弦を張つてはじめて音を出す。これが弛めば音が低くなる。どんどん弛めていけば最後には音は出なくなる。

Warning！クレーム発生！ お客様が苦しんでおられます！

絶対に隠さない 一人で抱えない 一人で悩まない

お客様にご迷惑をかけない、

負担をかけない、不安にさせない

クレームが起きてしまったら一人で解決しない！即全社員行動！

- 1 連絡を頂いたら全社員でまずは心からの「お詫び」を！
- 2 営業中、会議中、来客中を一切問わず、担当者に連絡がつくまで連絡を取り続ける！
- 3 社内全体と上席(営業部長・社長)へ連絡！
- 4 営業担当者はお客様へゼロ秒連絡！お詫びの上、上席へ報告！
- 5 営業担当者は直ちにお客様の現場へゼロ秒急行する！
- 6 内容を上席に報告！
- 7 対応方法を立案し、上席、社長決裁！
- 8 全社員ゼロ秒行動開始！
- 9 クレーム案件に関するお客様への一切の行動、電話連絡等については全社員が当事者として真摯に行動、対応する！
- 10 出来得る限りのあらゆる手を尽くして最短且つ全社員命がけでバックアップし、上席又は他の営業部員と共にお詫び再納品！
- 11 「顛末書」を作成し、上席、社長の決裁の上、「お客様へ提出」、再発防止に努めよう！

20181107株式会社ミラテック

ミラテック受注並びにお取引ポリシー

株式会社ミラテックは企業活動の全てにおいて「合法且つ、健全な公共の利益と社会貢献」を目的としてあらゆるお取引をさせて頂いております。このポリシーに従いまして、次に該当します事項に関しましては一切のお取引をお断りさせて頂いております事をご理解くださいませ。

- 1、反社会的活動及び団体、グループ、集団、それに該当する活動に関わるあらゆる団体並びに行為を目的とするサービス、物件の受注並びに提供及び買入れ。（官公庁等のお取引契約上からも一切請け負うことができません。）
- 2、違法賭博、違法ギャンブル、違法、脱法のハーブ、薬物等により、社会への悪影響を及ぼす、またはその可能性がある、あらゆる物品や遊戯、サービス、施設に対するサービス、物件の受注並びに提供及び買入れ。（官公庁等のお取引契約上からも一切請け負うことができません。）
- 3、売春、あらゆる風俗営業等、性的なサービスに該当する行為を目的とする活動に対する物品、サービス、物件の受注並びに提供及び買入れ。（官公庁等のお取引契約上からも一切請け負うことができません。）
- 4、恐喝、詐欺、暴力、威力による強制的な行為、その他あらゆる犯罪行為に該当する、またはその可能性を帯びた物品、サービス、物件の受注並びに提供及び買入れ。（官公庁等のお取引契約上からも一切請け負うことができません。）
- 5、弊社が品格、品性、品位、正当性、健全な公共の利益、健全な社会貢献を伴わないと判断した物品、サービス、物件の受注並びに提供及び買入れ。
- 6、性的な描写が目的の物件や同人誌、ポルノ、児童ポルノ、18才未満に提供ができないあらゆるサービス、物件（18禁）の未成年者へのサービス、物件の受注並びに提供及び買入れ。
- 7、著作権、肖像権、特許、意匠、商標など、個人及び団体が有するあらゆる権利に対する侵害行為を発生させる、或いはそれら権利関係クリアの確認が取れないサービス、物件の受注並びに提供及び買入れ。
- 8、その他、弊社が「合法且つ、健全な公共の利益と健全な社会貢献」を伴わないと判断した場合や、正当性、合理性、平等性、健全性を欠く商習慣やお取引条件を前提とした物品、サービス、物件の受注並びに提供及び買入れ。あらゆる公序良俗に反する行為等。

これらに該当いたします、あらゆるお取引はもちろん、ご質問やご相談に関しましても全てお断り致しております。お客様、お取引先様におかれましては弊社が目指す「合法且つ、健全な公共の利益と健全な社会貢献」への思いを何卒、ご理解賜りますよう、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



大阪本社：

〒534-0025 大阪市都島区片町 2-9-9

TEL：06-6354-3081(代) FAX：06-6358-2985

東京オフィス：

〒189-0013 東京都東村山市栄町 2-28-5

小河原ビル 2 F プリントリード株式会社内

TEL：042-392-7382 FAX：042-390-2553

E-mail：info@cmyk.co.jp

URL：http://www.cmyk.co.jp/

Concept Book

ミラテック社員コンセプトブック

発行日 2018年12月 第1版

企画・監修：株式会社ミラテック 代表取締役 滝野賢治

Copyright © 1959-2018 MIRATEC Co., Ltd. All rights reserved.